

市政に関する 一般質問

令和4年第4回定例会の一般質問には、24人の議員が登壇し、市政に関するさまざまな議論が展開されました。

各議員が行った質問のうち、1問についての質問・答弁を通告順に掲載しています。

なお、「**問**」部分については、各議員の草稿によるものです。



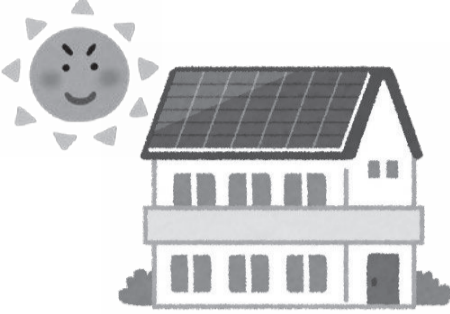
地球温暖化防止について

流政会 大塚 洋一

問 人口増加している本市においては、家庭部門の地球温暖化対策が重要である。よって、家庭の地球温暖化対策に貢献する「ゼロ円ソーラー」の推進と、「新築住宅への太陽光パネル設置義務化」の調査研究に取り組むとよいと考えるがどうか。

答 環境部長 設置者が初期費用の負担なく太陽光発電設備を導入できるゼロ円ソーラーは、10年程度の契約期間を満了すれば設備を取得できるメリットがあります。インシヤルコストゼロで再生可能エネルギーを家庭や事業所に普及することが、今後

できる方法として、今後



給食調理場のない 中学校の給食について

流政会 笠原 久恵

問 保護者から学校給食の味について相談があり、市内全中学校の1年生にアンケート調査が行われた。①調査結果はどうか。②その対策はどうか。③給食調理場のある学校とない学校で調査結果に差があったのか。また、その結果をどう捉えるか。

答 学校教育部長 ①味は、おいしいまたは普通の割合は95・1%。メニューは、満足している割合は91・1%。量は、ちょうど良いという割合は71・3%、多いという割合は23・2%。温度は、適温が88・8%です。②炊飯の水分量を変える、野菜から水が出ることを考慮して味つけを濃くする、保温性の高い二重食缶を使用し、配缶の時間を可能な限り遅らせるなど、温度管理に細心の注意を払い、衛生管理の徹底も行っていきます。③教育委員会としては、アンケート結果に若干の差が生じていると考えていますが、味つけの工夫や二重食缶などの備品の整備などにより、引き続きおいしい給食を提供できるよう努めます。



外国人観光客誘致の ターゲット

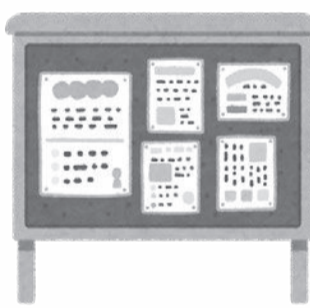
森田 洋一

問 最近、デンマークやスペインからガイド依頼がある。行政のターゲットとして英語圏、ヨーロッパ、南米で、滞在型やリピーターを想定して、特にこれまで実績があるイスラエル、スペイン、メキシコ、アルゼンチンにアプローチできないか。

答 経済振興部長 外国人観光客のターゲットについては、地域特性やこれまでのプロモーションの分析などから、欧米と台湾をターゲット国としています。具体的には、古民家を活用したカフェ

ギャラリーが点在する流山本町と、自然豊かで日本酒や本みりんを醸造する会社がある利根運河は、欧米と台湾に響くコンテンツであると考えています。新型コロナウイルス感染症の流行以前の当市のインバウンド施策は、ターゲット国を絞ったプロモーションを開始したところでした。そのため、3年ぶりにインバウンド施策を再開する現時点はターゲット拡大の状況ではないと考えており、引き続き欧米と台湾に絞って実施していきます。

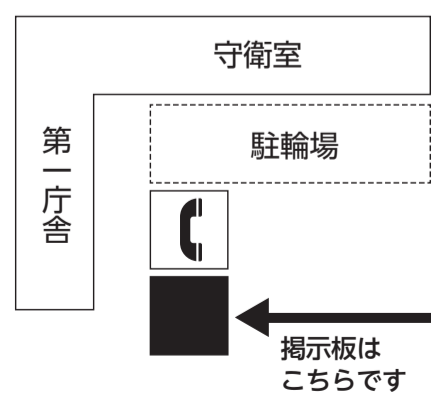
屋外掲示板で 市議会の情報を 発信しています



流山市議会では、市役所第1庁舎横・公衆電話ボックス前にある屋外掲示板で、市議会の情報を発信しています。

- 定例会の日程
- 市議会が主催するイベント
(議会報告会、写真コンクール、議員研修会)のお知らせ

などを掲示しています。市役所にお越しの際は、ぜひご覧ください。



流山本町のウォークアブルな 取り組みについて

流政会 渡辺 仁二

問 江戸川と流山街道の間に平行して敷設されている旧街道は抜け道となり交通量が多い。ウォークアブルなまちづくりを実現するためには、市が地域住民と連携し取り組みが必要がある。回遊性を体験するために、社会実験を実施してみてもどうか。

答 経済振興部長 議員ご指摘のとおり、快適なまち歩き空間を創出するためには、その地域に住む方々のご理解とご協力が必要です。社会実験については、一方通行のよ

うな交通規制だけでなく、



流山小学校児童通学路の 安全強化について

流政会 青野 直

問 同校の児童数は現在1078人。中でも西平井一丁目から三丁目までの地域からの通学児童数は539人で、全体の46・5%を占める。交通量の多い地域であるため、安全対策について市の見解を問う。警察による現場指導を求めるがどうか。

答 学校教育部長 通学路合同点検の危険箇所対策として、児童が車道に飛び出さないよう平和台駅の踏切内に白線を引き、踏切手前にガードポールを設置しました。また、パチンコ店付近の交差点

には横断歩道以外の場所での横断を防止するためのポールを設置しました。今後も通学路の危険箇所については、学校、警察などと連携し、安全面および防犯面に対し必要な対策を講じていきます。登下校時の安全対策については、自治会やボランティアなどの方に日々見守り活動を行っていただいています。今後も地域の皆様のご協力をいただきながら安全確保に努めます。各交差点での警察による現場指導は、今後、適宜要望していきます。